

《警察本部》

◎浜田（英）委員長 次に、警察本部について行います。

初めに、本部長の総括説明を求めます。

なお、本部長に対する質疑は、課長に対する質疑とあわせて行いたいと思いますので、御了承願います。

（総括説明）

〈会計課〉

◎浜田（英）委員長 続いて、会計課長の説明を求めます。

（執行部の説明）

◎浜田（英）委員長 質疑を行います。

◎土居委員 委託です。警察ですのでたくさんの庁舎がありますので、全て清掃委託をしているんですけど、見る限りほぼ適正な契約をされていると思うんですけど、1点ちょっと確認したいです。委託料調16ページ、3警察庁舎をまとめて289万4,944円、三件ここへ記されているんですけど、それぞれの委託金額を教えてください。

◎室津警務部参事官兼会計課長 少し資料の確認をさせていただきます。

◎土居委員 おおむね入札と随意契約という合理的なやり方をしていると思うんですけど、聞きたいのは、それぞれたくさんある中で単価設定であるとか、積算の方法は共通のものを警察として使用しているのかどうか。

◎室津警務部参事官兼会計課長 共通であります。

◎土居委員 平成18年に行政監査で県庁内全部のところですけど、単価設定と積算の方法がばらばらだったので、管財課がモデルを示して、これに基づいてやりましょうというものを出しているんですけど、そのモデルに基づいてやっているということでもいいでしょうか。

◎室津警務部参事官兼会計課長 モデルに原則従って設定しております。

◎浜田（英）委員長 先ほどの質問はわかり次第教えていただきたい。

◎塚地委員 交通安全の関係の安全施設で信号機を機能改善したり、ふやしたりしているんですけど、これは今要望が上がってきている信号機の基数との関係で言うと、予算上はどんな感じなんですか。

◎室津警務部参事官兼会計課長 交通部のほうで、県民の皆様から要望があるものは集約をされます。その中で、交通部でどうしても事故が多いであるとか混雑状況がひどいとか、そういうところで優先順位をつけまして、協議をしながら、優先的にそちら側から予算をつけておると。南海トラフ地震関係の信号につきましては、幹線道路をいろいろな車両が災害時は通りますので、信号が消えないように非常用電源であるとか、そこは重点的に信

号機の改良を進めておるといところでございます。

◎西村交通部長 補足させていただきます。信号機の設置に関しましては、信号機設置の指針という、全国統一基準が示されております。必要条件は五つあるんですが、これが全て合致することと、さらにその上で択一条件のいずれかに合致するといった厳しい条件がございます。一例申しますと、車がすれ違うための必要な車道があるのか、歩行者が信号待ちできる必要な滞留場所があるのか、一時間の交通量がどれぐらいか、隣接する信号機との距離が150メートル以上離れているかなど、細かい設置基準がございます。これらが合致するもので、御要望があったところから、緊急性があるものあるいは必要性があるものについて、交通部で現地調査をしつつ、予算との兼ね合いもございまして、それで上申を受けたものは検討の上、予算要求をしておるところなんです。優先的には、どうしても新設道路ができますと、そこに信号機が必要になってきます。例えば、来月17日にできます片坂バイパス、こういったところのインターチェンジについては、どうしても信号機をつけないと車が流入、流出できませんので、こういったところからやっております。ちなみに毎年、信号設置の御要望はあるわけでございますが、大体年間ベースでいきますと、四、五件ぐらいは住民の方あるいはいろんな関係機関の方から御要望いただきまして、それは全て警察署のほうで現地調査をさせます。その上で必要があるものは上申をいただいて、県警本部でさらに現地調査をして合致するのがあるいは合致しなければ、信号以外で代替措置ができる交通安全対策がとれないかと、こういったものを複合的に考えまして対応しておるといところでございます。したがって信号機は年間実質、3件から4件ぐらいしか設置できておりません。県単独事業ベースでいくと毎年1基ぐらい、二、三基は国の補助事業でつけておるといった現状でございます。

◎塚地委員 合致するんだけど、予算上待たないといけないというものは、今、数として累積してふえている状態なのか、きちんと一定減っている状況なのか。

◎西村交通部長 当然累積していきますので、必要性のあるものからまずやっていくんですが、さらにまた御要望があつたりして、毎年ふえておるといのが現状でございます。

◎塚地委員 県単で1基、国の補助分が二、三基という、これは割り当て的にふえてこないものなんですか。国からの予算は要望に従って二、三基が五、六基になるとか、そのような方向にはなっていないものですか。

◎西村交通部長 標準的な交差点で、4隅に信号機をつくる場合、1基が850万円ぐらい、それと工事費と横断歩道敷設とかで四、五十万円ぐらいかかりますので、900万円ぐらいかかります。必要性がある分についてはこちらから国にも上申をしておるんですけども、一方で、信号機につきましては維持費とかもございまして。信号制御機は耐用年数が19年ということで、19年たつと順次更新していかなければ火災が発生する可能性がありますので、この更新もしなければならぬ。ただ、むやみやたらふやしたらいいものではないし、あ

る一定の管理をしつつ、更新もしなければならない、新設もあるというような形のサイクルでやっていますので、どうしても予算上の制約はございます。

◎塚地委員 新たに更新する場合も国費があるんですか。

◎西村交通部長 一定補助はございます。

◎塚地委員 結構御要望もあろうかと思っておりますので、県単独事業で数をふやすというのはなかなか難しいかもしれないんですけれども、要望に極力応えられるような予算措置をぜひお願いしたいと思っております。

◎上田（周）副委員長 委託料調の11ページ、アスベストの含有の問題で7件調査を行っていますが、その結果についてお聞きしたいのですが。

◎室津警務部参事官兼会計課長 全て解体前に解体方法の設計をするに当たりまして、アスベストが含まれておるかという観点で鑑定に出しているんですけれども、一部の物件では、アスベストが若干量出ているということで、アスベストがあるという前提の解体で設計をしてもらったような状況はあります。件数は今わかりませんが。

◎上田（周）副委員長 6月議会で、さきの阪神・淡路大震災、東日本大震災、最近の熊本地震の際にもそういったアスベストの飛散ということで、中皮腫が発生しているというような状況の中で、そういったことで質問をさせていただきましたが、実際工事へ携わる方が1番大変なんです、周囲の住民の方も結構御心配だと思っておりますので、ぜひ工事の際は、課長の説明だったらレベル1、レベル2だと思っておりますので、そのあたりは十二分に注意してやっていただきたいというのが1点です。

それから二つ目、警察官の採用で、募集活動とか警察を紹介して前向きにやられていると思いますが、今朝の新聞で大学卒業の警察官が少ないという記事がありましたが、今の現状と今後のより優秀な人材確保に向けて、どういった具体策を行っていくかお聞かせいただきたいと思っております。

◎田中警務部長 御指摘のとおり大変厳しい状況が続いてございます。きょうの新聞にもございましたけれども、ことしの大学卒業の採用試験で申しますと、男性の採用数は33名を予定していたのですが、その結果、合格し、就職をしていただけそうな方というのは14名にとどまっておるということで、予定の半分にも満たないような状況でございます。これにつきましては、県の人事委員会とも御相談申し上げて特別募集という形で来年、再試験のような形でもう一度試験をやるということで準備をしてございます。特別募集に向けてもそうでございますし、来年度の採用に向けても、とにかく警察の魅力をいろんな形でアピールしていかなければいけないと考えてございます。本日の新聞にございましたのはリクルーターということで、若手の警察官を指定をいたしまして、出身の大学等に出向いて、後輩ですとか先生方にお話を申し上げて、就職の選択肢に加えていただけないかというようなことをやる部隊でございます。その他にもいろいろな形で、ホームページですと

か、SNS等も使いながら、警察の仕事の魅力ですとか、そういったものを発信して、おっしゃるとおり優秀な人材を採用しなければなりませんので、いろんな力を尽くしてさらに取り組んでまいりたいと考えてございます。

◎上田（周）副委員長 ぜひ、1人でも2人でも優秀な人材を育てるように頑張ってください。

◎室津警務部参事官兼会計課長 先ほど土居委員から委託料の金額で御質問がありましたけれども、今、詳細な金額の部分を持ち合わせてございませんので、後ほど資料をつくりまして、回答させていただきたいのですが。

◎浜田（英）委員長 そのようにお願いします。

皇太子殿下の行啓お疲れさまでございました。また続く、行幸啓も成功裏に幕を閉じることができまして、皆様方の御尽力に感謝を申し上げたいと思います。本当に御苦労さまでございました。

私のほうから南海トラフ地震対策等について、基本的には警察の装備品というのは、高知県の危機管理部あるいは消防本部が持ち合わせていない、性能のいいものを基本的には持ってもらいたいと思っています。15年ぐらい前に馬路村で大きな土砂崩れがありまして3名の方が亡くなった。そのときにも、降りしきる雨の中で県の防災無線も通じない、消防無線も通じない中で、安芸警察署長の持っていた警察無線だけが通じたんです。そのおかげで県のほうとの連絡がとれて、いろんな面で助かった思いがありました。さすが警察の装備はすごいなと思った次第でございまして、今回も、QZSS、みちびきがそろそろ運用スタートいたしますけれども、これに対する装備としても、警察は真っ先に受信機を構えないといけないと思っておりますので、早速来年の予算でもこれに充ててもらいたいと思いますし、それからプロペラボートにしても、消防署が導入すべきところをまず警察がやっていただいたと。これはまだ1機体制ですけれども、運搬用の車両を含めて2機体制がどうしても必要だと思えます。予算を上げていただきたいと思います。なぜこういうことを申すかといいましたら、南海トラフ地震の発生確率が向こう30年以内70%であったものが80%になってまいりました。80%ということはもう本当にいつ起きても不思議ではない状況でございます。その中で、今度、日向灘沖から豊後水道をわたって四国中央構造線に向かってスロースリップが徐々に起きつつあるということで、足摺岬から日向灘の沖へ新たに高性能の地震計を装備するようになりました。それでスロースリップの精度が上がってまいりまして、当然気象庁はそうなってくると臨時情報を出すこともあるわけです。臨時情報を出しますと、それによって各市町村自治体は県民に避難勧告をします。でも、まだ地震が起きてない中で避難勧告をやられても県民は3日間の避難になる中、この3日間が大変警察にとっては重要な役割になるわけで、住民が避難をしている間に空き巣がどんどん入ってくる可能性があります。この3日間は警察の業務あるいは消防の業

務、それぞれやることがありますので、そのところ3日間の避難中にどんな事件が起きるともわかりませんので、空き巣対策等に一生懸命努めていただきたいと思います。当然、警察官は家族を避難させなければいけませんし、みずからの命も大事でございますが、そういうところも特に気をつけていただきたいと思いますということをお願い申し上げておきたい。いずれにいたしましても、今回の行幸啓は本当に感謝を申し上げまして、これで、警察本部を終わりたいと思います。

以上で、警察本部を終わります。

以上、本日の日程は全て終了いたしました。

次回は、11月5日月曜日に開催し、農業振興部、地域福祉部の決算審査を行います。開会時刻は午前10時。

これで、本日の委員会は閉会をいたします。

(14時37分閉会)